



JA新あきた広報誌

いぶき

ふれあう笑顔

つながる未来

『春花壇苗』

新あきたの“旬”

地域の農産物をご紹介します！

もくじ

◎緊急特集【東日本大震災支援活動】	2
◎特集【安全・安心農産物づくり推進協議会】	4
◎ニュース&トピックス	6
◎Close up Topics【平成22年度支部座談会】	8
◎新あきたの旬【春花壇苗】	9
◎営農ワンポイントアドバイス【稲作】	10
◎ステキな笑顔いっぱい！	11
◎知って得する健康対策	12
◎クロスワードパズル・ふれあいメール	14
◎概況・理事会便り・編集後記	15

2011.MAY

5

ibuki vol.146



緊急特集

一人ひとりが「がんばろう東北」を胸に!! ～東日本大震災～

ＪＡ新あきたは、3月11日の大震災をうけ「東日本大震災対策協議会」を設置し、秋田市を通じて被災地に向け救援物資を提供しました。

穂積志秋田市長と交流のある福島県相馬市からの要請に基づき3月29日(火)、ＪＡ新あきた管内で生産された白米2トン(無洗米5kg×400袋)、ホウレン草300kg(5kg×60ケース)、シイタケ60kg(3kg×20ケース)等を4トンのトラックに積み込み、応援メッセージの書簡を添え、福島県相馬市へＪＡ新あきたを代表し園芸畜産課長谷川清仁課長と秋田市農林部職員が被災地に向け出発しました。被災地で作業した長谷川課長は「テレビなどで見る以上に悲惨な現状を目の当たりにしました。1日も早い復興を願います。」と被災地の状況を語ってくれました。



▲支援米を4トントラックへ運び入れる
船木耕太郎組合長(左から2番目)



▲秋田市農林部庁舎前にて出発式が行われました



▲出発する輸送車へ「気をつけて」と参加者全員で声をかけました

当日は、秋田市農林部の庁舎前にて、穂積志秋田市長を始め、ＪＡ新あきた船木耕太郎組合長と秋田市農林部職員、ＪＡ新あきた役職員が参加し出発式を行い、トラックへ米の積み込みをしました。出発の際、被災地に同行する職員へ「気をつけて行ってらっしゃい」と参加者全員で声をかけました。

式の中で、船木耕太郎組合長は、「同じ東北の仲間が被災によって苦労されています。秋田市民、農家の思いを届けて少しでも皆さまが元気に復興されることを心から願っております。」と話しました。



▲佐藤憲男副市長(中央)・
臺内(だいうち)吉重教育部長(右)との懇談



▲救援物資保管・ＪＡそうま低温倉庫で
お米を運び出す関係者



▲被災地の状況

第2弾の支援物資として4月13日(水)には、船木耕太郎組合長、生産者代表の鎌田英文野菜部会長、職員が穂積志秋田市長を訪れ、支援米約1.5トン(5kg×295袋)とレトルト製品のご飯240パックを現在秋田市で避難生活を送られている方々へ提供いたしました。穂積志秋田市長は「被災者に秋田の真心のこもったおいしいお米を食べてもらい、元気を取り戻してほしい。責任を持って届けたい。」と話されました。秋田市に寄託した支援米は、市から被災者の方々へ直接届けられました。



▲今後も被災者への支援協力を確認した
穂積志秋田市長(左)、船木耕太郎組合長(中央)、
鎌田英文野菜部会長(右)

4月13日(水)、船木耕太郎組合長、鎌田英文野菜部会長、職員は秋田魁新報社を訪れ、沓澤伸義専務へ皆さまから寄せられた義援金100万円を「被災された方々の少しでも復興へのお力になれば」と思いを込めて手渡されました。



▲各分会、生産者の方々を代表し、義援金を渡す鎌田英文野菜部会長



▲JA新あきた全役職員を代表し、義援金を渡す船木耕太郎組合長

現在まで支援内容(4月13日現在)

- JA新あきた** 《3/29》
白米2トン(5kg×400袋)
ハウレン草300kg(5kg×60ケース)
シイタケ60kg
《4/13》
白米約1.5トン(5kg×295袋)
レトルト製品のご飯240パック
タオル約1,500枚
- 女性部**

《東日本大震災見舞金》

- JA新あきた**
- 稲作部会●受託部会●野菜部会
 - 大豆部会●花き部会●果樹部会
 - 畜産部会●酪農部会
 - 野菜部会雄和支部
 - 生産者(組合員)……………370,560円
 - 全役職員一同……………629,440円

JA新あきたは、多くの方々からのご支援に対する温かいご理解・ご協力に感謝申しあげるとともに、被災され不自由な生活を余儀なくされている皆さま及び、地域全体が災害をのりこえ大切な地元を再建されていかれるお力になれるよう、救援物資のみならず総力を挙げて私たちにできる最大限のことを今後も実施してまいります。

被災された皆さまの一日も早い復興を心よりお祈りいたします。

地域の農業を振興し、 わが国の食と緑と水を守ろう

～安全・安心な農産物づくり推進協議会～

安全・安心な農産物づくり推進協議会が3月28日(月)、各生産部会長を始め、関係機関・協議会委員で構成された20名が集まり、平成22年度の報告と平成23年度へ向けた推進計画について協議を行いました。

内部検査報告では、生産履歴記帳運動の取組みにおいて概ね運営基準に添った手続きが適正に行われているとの報告がありました。



協議事項

- (1)平成22年度 生産履歴記帳運動実施報告
- (2)平成22年度 残留農薬自主検査結果報告
- (3)平成23年度 安全・安心な農産物づくり推進計画について

各代表者からの声

秋田市農林部農業農村振興課
課長 浦山 芳春 氏

市では、自主検査の補助を行っています。平成23年度計画では、農産物が増加することから、さらに増額した補助を考えています。



暮らしを考える女性の会
会長 高橋 敦子 氏

安全・安心ということの二面性の中に「量の確保」があると思います。その安全も保障があると良いのではないかと。安全・安心なもののづくりをより一層推進してほしいです。JA新あきたの生産したものが、新鮮で安定供給と食料の安全性の二面性の両方がうまく連携機能していけば良いと思います。



丸果秋田県青果株式会社
常務取締役 安斉 美喜男 氏

昨年、JAと一緒に残留農薬検査を市場内において数点実施した結果、検出されておりません。現在、震災の影響から放射能物質の風評被害もあり、市場内では混乱もありましたが、十分な安全性を確認して取り扱っており、今後も安全・安心なものを取り扱ってまいります。秋田においてこの時期、品薄になってしまうので様々な部分を克服し、長い期間野菜を出荷できれば幸いです。





秋印秋田中央青果株式会社 野菜部
次長 石川 秀典 氏

平成22年度の自主検査で安全性が確認されており、今現在においても最大限の努力をされていると思います。引き続き平成23年度も対応いただきますようお願いいたします。最近では、地震の影響で購入する消費者が一つ一つ産地を確認している状況にあり、飛散する放射能物質は別としても安全・安心の部分については引き続き対応をお願いいたします。



JA全農あきた 園芸畜産部園芸課
山崎 隆太郎 氏

全農として残留農薬検査の補助を行っております。放射能物質の検査については、検査機関が少なく難しい面もありますが県、関係検査会社に要請していき、秋田県産の農産物販売に努めてまいります。



稲作部会 会長 佐々木 貞助 氏

安全で安心な米づくりに今後とも取り組んでまいります。



野菜部会 会長 鎌田 英文 氏

平成23年度から青果物の拡大プロジェクトを立ち上げ生産の拡大を図り、生産量の確保についても対応していきます。



果樹部会 会長 渡辺 良雄 氏

安全・安心な果物の生産に普及指導課の指導を仰ぎながら取り組んでおります。部会員に対しては、取組みについて指導ができるが部会員以外の方に対する対応が今後の課題です。



大豆部会 会長 加藤 精務 氏

生産履歴の記帳を徹底し、良質な大豆生産に努めてまいります。

安全・安心な農産物づくりを生産者の皆さまと一緒に、より一層の生産意識の推進を図っていくとともに、消費者の方々に安定した地場産の農産物を供給できる体制作りを目指してまいります。引き続き本運動の徹底を図ってまいります。

身近な情報、
お得な情報盛りだくさん!!

News & Topics



▲資料で確認をする出席者(旧上新城支店)

平成22年度産採種実績からの問題点を踏まえて、平成23年度水稲種子生産の取組みについて3月29日(火)、JA新あきた旧上新城支店で、耕種会会員19名・関係機関3名にJA職員が参加し開催されました。

研修会では、秋田県産米

改良協会事務局次長中村信

夫氏から平成22年度種子生産・需要状況と平成23年度種子生産取組みについて説明が行われました。秋田県秋田地域振興局普及指導課主任大張智氏から平成22年を振り返った課題などの指導と開発肥料株式会社営業部齊藤秀雄氏から「けい酸加里」の特性について説明がありました。

渡辺良雄会長からは、「今年は天候に左右されない良品質の種づくりに励みます」とお話をいただきました。



▲栽培方法について説明を受ける生産者(四ツ小屋支店)

1. 加工用トマト作付面積拡大!!

園芸品目生産拡大プロジェクトの一環として各営農センター担当者が推進を行い、今年度の加工用トマトの栽培面積が昨年の197aから330aに増加し、新規生産者が5名新たにチャレンジされることになりました。品質の向上と安全・安心なトマトの生産、収量向上により経営安定を図ることを目的として4月5日(火)、2011カゴメ契約栽培「加工用トマト」栽培講習会があきた園芸戦略対策協議会主催で、JA新あきた四ツ小屋支店で開催されました。

研修会では、カゴメのフィールドマンよりマニュアルに添った栽培方法を進めることや、昨年の反省を踏まえ排水の良い圃場選定が必要との説明がありました。

今後、栽培ポイントごとの時期にカゴメのフィールドマンによる一カ月に2回程の巡回が行われる予定です。

3. 高品質のカボチャ生産を目指して

園芸品目生産拡大プロジェクトの呼びかけで新規生産者が20名、面積350aほど増えたことにより改めて3月25日(金)、JA新あきた四ツ小屋支店で「カボチャ研修会」が開催され、生産者とJA職員合わせて35名が参加しました。

研修会では、播種から定植までの基本的な栽培のポイントについて株式会社高井南苑園常務取締役金野豊秋氏から生産者へ講習が行われました。生産者は、資料などを見ながら栽培技術を再確認していました。

また、園芸畜産課の担当者から肥料注文について説明が行われました。

今後、研修会や巡回等を行い、高品質なカボチャ生産を目指して積極的に推進していきます。



▲金野常務からアドバイスを受ける生産者(四ツ小屋支店)

4. 部会員の所得向上と経営の安定へ

J A 新あきた野菜部会は3月15日(火)、J A 新あきた河辺支店で通常総会を開催し、平成22年度事業報告及び収支決算報告が承認されました。



また、平成23年度は、新たに園芸品目生産拡大プロジェクト事業を立ち上げ、生産者の手取り向上についての取組みを部会員で協力し合っていくこととしました。

総会終了後、J A 職員よりプロジェクト内容について説明があり、野菜生産振興を図るため生産拡大と販売の計画化、共選・共販体制の確立等、安全・安心な農産物づくりの推進を呼びかけました。



▲総会に望む部会員(河辺支店)

5. 平成22年度大豆部会通常総会

J A 新あきた大豆部会は平成22年度通常総会を部会員、各関係機関が集まり3月17日(木)、J A 新あきた会館で開催しました。

総会では、平成22年度の事業報告並びに収支決算の報告がありました。良質多収穫コンクールの表彰式が行われ、団体の部と個人の部にそれぞれ表彰され、また、昨年度の種苗交換会で顕彰状を受賞された下北地区村越春雄さんに大豆部会から功労表彰が贈られました。

平成23年度は、生産の振興と農業経営安定、特に高品質の大豆生産を目指すことを確認しました。



▲表彰された村越春雄さん(J A 新あきた会館)

6. 安全・安心な稲づくりを

昨年度の初開催から今回で3回目となる「雄和地区農業担い手サミット」が3月18日(金)、雄和地域活動センターで雄和地区の認定農業者や農業法人の方々が30名ほど集まり、「ecoで売れる米づくり」と題して開催されました。

これは、秋田市雄和市民センターが主催しているもので、平成23年度「農業者戸別所得補償制度」の概要の説明などが秋田市農林部からありました。また、J A 新あきた園芸畜産課長谷川清仁課長からは、「園芸品目拡大プロジェクト」の説明が行われ、雄和地区における面積拡大の呼びかけをしました。



▲講師からの説明を受ける出席者(雄和地域活動センター)



7. 女性部通常総会開催

新あきた農業協同組合女性部は、第12回通常総会を4月1日(金)、新あきた会館で32名が出席し、開催しました。

平成22年度の女性部の活動をスクリーンで放映し、J A かがやき女性塾を始め、各小学校への食育活動や全県女性部共同購入運動の取組みなど多様な活動を展開したことを報告しました。

平成23年度は、安全・安心な地場産農産物の供給や「食」と「農」の大切さを伝える活動に重点をおいて取組みを行うことで承認されました。

総会終了後、「施設再編及びT P P について」と題して、長谷川実専務が講演を行いました。



▲JA女性組織綱領を唱和する女性部員(J A 新あきた会館)



平成22年度 第2回支部座談会

〈意見・要望について〉

自／平成23年2月2日 至／平成23年2月21日
総出席組合員数／1,961人(出席率25%)

農協運営

質問

広域合併の現在の内容と今後のJA新あきたとしての考え方を教えてください。

回答

広域合併につきましては、理事会の中で審議を経ていきたいと思っております。
今は、中央会指導の農協大会で決議された5JA構想をどのように進めていくのか話し合いをしております。



営農指導事業

質問.1

土壌改良剤で安価で効果のあるものがあるらしいが紹介してください。

回答.1

土づくりは、土壌の実態(土壌分析結果など)を科学的に把握して、生産するにあたっての阻害要因を明らかにして、有機物の不足、養分の不足、アンバランスなどそれぞれに相応した対策を行うことであります。当JAでは、管内の水田土壌の分析結果により、ケイ酸補給を主体とした土改剤(千秋の郷)を推奨しております。

土壌改良剤により保証成分内容が異なっていることから、一概に安価な商品を選定できませんのでご理解願います。



質問.2

TPP交渉の見通しと今後のJAの考え方や対応はどうされるのか。あわせて組合員やリーダーの勉強会が必要ではないのでしょうか。

回答.2

政府は、TPP交渉をめぐって米国などとの協議を始め、6月をめどに参加するかどうかに判断する考えです。TPPの原則は全品目の関税撤廃で、日本が締結すれば、国内農業が壊滅的な打撃を受けるのは必至です。JAグループは交渉参加を阻止する方針で、国民に理解を呼びかける運動に取り組んでいます。JA新あきたはこれまで市長・議長への要請活動、街頭署名活動、交渉参加阻止1000万人署名全国運動に取り組んで来ましたが、今後、JA段階での勉強会等を開催しながら、交渉参加断固阻止に向けた運動を展開してまいります。



質問.3

転作配分格差(不公平感がある)をすぐに解消してください。

回答.3

秋田市は県内市町村平均との格差が平成22年度で4.2%、最低市町村とは9.7%の開きがあります。このためJA新あきたでは、市長への陳情、県議会議員との意見交換会等実施して早期の格差是正を要望してまいりました。その結果、平成23年度から市町村格差の是正が始まりましたが、完全解消までには数年要するため今後も継続して要請活動を展開してまいります。



販売事業

質問

平成21年産米の最終精算の見通しについて。また、平成22年産米の全農追加支払の見通しはどうなっているのでしょうか。

回答

21年産米は、全農委託米はうるち米では620円(60Kg)の過払いの状況であります。独自販売米の果実を繰り入れながら、複数年で補填してまいります。
なお、もち・醸造用米については、追加支払の見通しであります。
平成22年産米は、3月から全農から追加払いがありました。うるち米は既にJAが立て替えて支払っていることから今回の支払はありません。もち・醸造用米は1,000円(60kg)追加払いとなります。



皆さまからいただいたご意見を大切に、今後のJA運営へ反映した取り組みを行ってまいります。
更なる皆さまからのお声をお聞かせいただき、ご協力・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

新あきたの旬

『春花壇苗』

少しずつ暖かくなり始め、花壇を彩りで飾る季節となりました。今月号では、ワクワクするような春の花壇苗の定番、「デージー」と「ビオラ」をご紹介します。



デージー



早春から初夏まで次々と咲く花で、花壇やコンテナ、庭先の日当たりの良い所で元気に咲いているとてもポピュラーな花です。草丈は低く、丈夫で長期間開花する一年草です。元々は野草であったものを品種改良したもので、小輪～大輪までの花径があります。

「デージー」は「day's eye」(日の目)が語源で、花芯の黄色を太陽に見立てており、キク科ヒナギクに属した花です。

■花言葉…無意識、無邪気、純潔、幸福

栽培
カレンダー

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
開花期												
肥料												



ビオラ

ビオラは春花壇をはじめ、プランター、鉢植え、ハンギング、寄せ植えなど用途もかなり多く、花の少ない冬から春にかけて活躍してくれます。

暑さには比較的弱く、本来は宿根草なのですが、日本では秋から春の花として楽しまれていますが、秋田では通常4月下旬からの定植をするのが一般的ですが、最近では秋に苗を植えて春の雪解けとともに花を咲かせる花壇も見受けられるようになりました。

性質は丈夫で、病気にも強いので作りやすさがあります。

■花言葉…誠実な愛、信頼、忠実、少女の恋

栽培
カレンダー

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
開花期												
肥料												



④植え付け後のワンポイントアドバイス！

- ① 植えてからの追肥は、1週間から10日に一度の灌水時に液肥を混ぜるか、株元から離れた場所に置き肥を施しておきます。
- ② 気温が高くなると新芽や花にアブラムシがついて汁を吸い生育を妨げることがあるので殺虫剤を散布しましょう。

ワンポイント アドバイス!!



北宮農センター
係長 三浦 敏光

稲作これからの管理 昨年の反省点を今年の稲づくりに活かす

収量と品質の低下を教訓に 今年天候に負けない稲を作しましょう



平成22年を振り返ると・・・田植え時の低温、6月～8月の高夜温、日照不足で
ありました。

このことにより・・・●茎数・穂数の減少、軟弱徒長、葉色の低下、登熟不良、
黒点症状米(クサビ米)などの被害が発生

昨年のような被害を出さない為に、基本と適期をもう一度見直しましょう!

①田植え(田植えが近づいてきました。適期の田植えを!)

作業的に田植え時期を調整することが困難な場合もありますが、極端な早植えはやめて田植えはできるだけ
温暖な日に行いましょう。

●適期田植えの実施(温暖な日に田植えをしましょう!)

田植えは日平均気温で稚苗13℃、中苗14℃以上の日とし、日中の最高気温が20℃以上の日に実施しましょう。最高気温が
15℃以下の日は田植えを行わないようにしましょう。(葉もち感染防止)

※出穂期の目標は8月5日～10日です。(高温登熟を避けるため)そうすると田植えは5月20日～25日頃に行うことになります。

田植えが早いと! (田植えを急ぐことによって次の悪影響が考えられます)

[早植えによる弊害]

- ①低い水温のため活着不良になり分けつの発生が遅れます。
- ②気象変動の大きい7月下旬に減数分裂期(低温に最も弱い)が遭遇しやすくなります。
- ③出穂後の高温でふ割れが発生しやすくなります。
- ④出穂が早くなり斑点米カメムシ類の集中加害を受けやすくなります。
- ⑤高温登熟による品質低下(クサビ米、乳白、腹白)を受けやすくなります。



●植付本数と栽植密度と植付の深さ(強勢茎を確保する為に)

《あきたこまちの基本となる栽培管理》

- ◎植付本数・・・稚苗4～5本、中苗3～4本植え
- ◎栽植密度・・・70株/坪
- ◎植付深さ・・・稚苗2cm、中苗2.5cmとし3cm以上の深植えに
ならないようにしましょう。



②活着及び初期生育の促進を図る水管理

田植え後は、できるだけ水温を高めて活着の促進を図ることが必要です。苗の活着の最低限界温度(日平均気温)は中苗で
13～14℃程度ですが、水温は気温よりも3～4℃高いので田植え直後はやや深水とし、湛水状態を保ってください。活着後
はやや浅水にして日中と夜間の水温の格差を大きくし、分けつの促進に努めてください。ただし、低温時には深水にし地温の
低下を防いでください。入水は夜間から早朝に実施し、昼間は止め水にしてください。掛け流しは厳禁です。

③除草剤の適正使用《一発除草剤を上手に使いましょう》

雑草の生育は、代かき後から始まり10日程度でノビエ2葉期になります。移植時、移植後に使用する初中期一発除草剤は『代
かき日から10日以内の使用が最も効果的です』ただしラベルに記載された使用時期は必ず守ってください。除草剤使用後は
3～4日は止め水にして散布後7日間は排水路への落水、掛け流しはしないようにします(効果の減退)。除草剤の基本は水の
管理です。水がきれい、水を足したりは除草剤の効果を落としますので、きちんと管理しましょう。

“産婦人科で行う腹腔鏡手術”

腹腔鏡手術とは、大きくお腹を切開せずに、腹腔鏡というカメラを用いて、お腹中の様子をテレビ画面に写しだし、この画面を見ながら特殊な器具を使って行う手術方法です。全身麻酔をかけてから、おへその下に10ミリの穴を開けて、そこからカメラ（腹腔鏡）を入れます。炭酸ガスを用いてお腹をふくらませてから、引き続き5〜10ミリの穴を2〜3ヶ所開け、そこから、腹腔鏡用鉗子と呼ばれる特殊な手術器具を挿入し、手術を行います。穴の代わりに、恥骨の上（毛の生え際）に3〜4ミリの小切開をいれて、手術を行うこともあります。手術時間は、一般的な開腹手術に比べると、2〜3倍かかりますが、手術後は、きずの痛みがたいへん軽いので、体力の回復が非常に早く、手術の翌日には普通の食事が摂れ、普通に歩くことができます。順調であれば手術後2〜

3日で退院することができま
す。手術をしてから1週間ぐら
いで、仕事に復帰してしまふ人
もいるほどです。きずは非常に
小さいので、下着を着ければ隠
れてしまい、ほとんどわからな
くなります。だから、美容上も
たいへん優れています。一般的
な開腹手術では、いくら小さく
しても、きずは10センチにはなっ
てしまいますし、手術後は最低で
も1週間の入院が必要です。
開腹手術を行うと、癒着とよ
ばれる、たいへん困った合併症
が避けられません。骨盤内にあ
る子宮・卵巣・卵管やお腹のき
ずに、腸などがくっついてしま
って、腸閉塞や不妊症がおこ
ってしまふことがあります。
腹腔鏡手術では、この癒着がお
こりにくいとされていて、特
に、手術後に妊娠を考えている
人にとっては、たいへん優れた
手術方法であるといえます。



秋田組合総合病院
産婦人科 科長
よしおか ともみ
吉岡 知巳

産婦人科の病気で腹腔鏡手術
の対象となるのは、卵巣腫瘍、
子宮内膜症、子宮筋腫、子宮外
妊娠および不妊症などで、がん
以外の病気のほとんどが、腹腔
鏡手術で治療することができま
す。当科でも、ここにあげた病
気については、多くの場合、腹
腔鏡手術で治療することができ
ますが、子宮筋腫のように、そ
の大きさや個数などの病状に
よって、腹腔鏡手術ができない
こともあります。また、病院に
よっては、腹腔鏡手術をしてい
ない場合もありますのでご相談
ください。

オススメ
得する
対策
etc.

あなたの知らない体操ワールド 一般体操ってなあーに？

●指導・監修／日本体育大学運動方法体操研究室教授 荒木 達雄



「体操ワールド」のトップは一般体操を紹介します。実は体操の原点は競技ではなく、この一般体操に由来するのです。体操の歴史は古く、中国では2200年前から体操の運動形態が医療として用いられていました。ギリシャやエジプトで紀元前に描かれた壁画や彫刻には逆立ちをしている様子が描かれています。それが17世紀になってヨーロッパの国々で近代体操として確立され、明治初期にその体操が日本に輸入され、学校体育を中心として体操が体育の中心として広がっていきました。そして、競技に分化していきました。一般体操という名称は1984年に国際体操連盟(FIG)が制定しました。しかし、決して新しい体操分野ではなく前述した歴史を継承している「誰でも、どこでも、気軽に楽しく動ける健康を目的とした運動」なのです。

その一般体操の普及の一環として、2006年より『日本農業新聞』に連載した「体かろやかに」は世界中から反響がありました。FIGのホームページに掲載され、それを見た国際オリンピック委員会(IOC)の「スポーツ・フォー・オール委員会」から依頼があり、92カ国600人が参加した国際会議(フィンランドのユベスキュラ大学)で特別講演を行いました。

先日、IOC国際会議での特別講演と同内容で、群馬県のががつま農村女性会議構成団会で講演会を行いました。120人の参加者は非常に熱心に聴講され、実技も多く交えたプログラムで、参加者は客席でも簡単に楽しく動ける体操を体験し、一般体操の神髄である「健康を意識し、それを実現できる運動」を実感されたようでした。このように、一般体操は誰もが健康を意識しながら楽しく動ける体操の原点といえるでしょう。

皆で仲良く百歳食

昭和の知恵おふくろの味

●食文化史研究家 永山 久夫



日本人の高齢化が進んでいます。

一方で少子化も進行していて、若い世代が少なくなり、老人だけが増えていく。日本は、人類史上例のない超老人国になるうとしているのです。食に対する社会的なニーズも、当然変わるでしょう。

若者にアピールするような脂っこい料理は敬遠され、素材本来の味を生かした料理が要求されるようになるはずです。

一言でいえば「おふくろの味」の見直し。おふくろの味と一口だけでは、ふるさとを思い出しませんか。

そうですね。「おふくろの味」は家族のぬくもりや幼なじみ、風景といった思い出で、味わいになっているのです。

「おふくろの味」は、ママーシャルなどで情

報と共に大量生産される安価で便利な食べ物には、思い出につながるような物語はありません。

「おふくろの味」といったら、サトイモの煮つけや肉じゃが、ダイコンやこんにゃくの煮つけ、きんぴら、油揚げや高野豆腐の煮物、山菜の天ぷら、煮魚などを連想すると思います。

夕食の代表的なお惣菜であり、お母さんの味、つまり「おふくろの味」です。同時に素晴らしい健康料理であり、健脳食、長寿食である点にも注目しましょう。だしをしっかりと活用して作っていますから、美味ですし、飽きません。

年を取れば取るほど、食べなくなる懐かしい昭和の味、それが「おふくろの味」なのです。

平成となって23年。昭和に比べて食生活の中身は油脂の摂取量が急増するなど、悪化しているのは間違いありません。季節感が失われ、家庭で料理を作らず、出来合いで間に合わせてしまう。古くから食べ続けられてきた、その土地の伝統食には理由があるはずです。「おふくろの味」には「地産地消の知」がぎゅっと詰まっています。

健康百科

増える小児肥満

●佐久総合病院名誉院長

松島 松翠

最近、子どもの肥満が問題になっています。ある調査によれば、11歳、12歳の子どもの10%以上、つまり10人に1人が肥満であるということが分かっています。長い目で見ると、肥満の子どもは、大人になっても肥満になりやすく、糖尿病や高血圧、高脂血症などの「生活習慣病」の予備軍となりかねません。

それに、肥満で体重が増え、膝や腰に大きな負担がかかるようになり、骨折などのけがも起こりやすくなる。



なります。また、肥満になると自然と運動量が減ってしまいます。外で遊ぶことが少なくなり、テレビを見たりゲームをする時間が長くなったり、夜更かしが多くなるなど、生活リズムの乱れにつながります。

子どもの肥満は親の責任です。親自身が正しい知識を持って、食生活を改善していくことが大切です。肥満の原因には、もちろん運動不足もありますが、最大の原因は食生活にあります。運動で消費エネルギーを増やすことは大変なので、食事のコントロールが基本です。

子どもに人気のある揚げ物やスナック菓子は、脂質を多く含んでいます。これらをたびたび取る食生活をしていると、摂取エネルギー量が過剰になり、肥満につながります。

肥満している子どもの親は、肥満している場合がよくあります。油っこいものや甘いものをよく食べる、間食や外食が多いなど、その家庭の食生活がエネルギー過剰になっている、子どもにその影響が出てくるのです。

親が自分の食事のエネルギー量をコントロールできなければ、子どもの食事だけきちんと管理しようとしても、無理です。まず親が肥満と栄養摂取の関係を正しく理解し、親自身が食生活を見直すことを始めてください。

ふれあいメール

4月のテーマ『桜の季節』



桜の開花と言えば農作業の本格的な始まりでしょう！私の近くにあでやかなピンクの花をつける樹齢350年も立つ桜。古木2世3世の桜がたくさんあります。毎年見事に咲き本当に綺麗です。また、散る花吹雪は「頑張れよ」と励ましのもらえる季節でもあります。
(豊岩 Fさん 60代)

私は桜の中でも、山桜が好きです。お花見の頃は農作業も多忙な時と重なり出かける事ができないのですが、仕事の合間に周りの山々の木に混じって咲く山桜それはとても美しいです。今年もまた、桜が見れることに感謝したいと思っています。
(金足 Nさん 60代)

桜の季節といえば花見。子供の頃、両親に綿菓子をおねだりしてほう張りながら花見をしたことを思い出します。花より団子でした。今は団子より花です。
(新屋 Kさん 30代)

桜の季節といえば入学式ですね。子供の入学式、20年位前雪が降り寒さで震えながら式を終えたことを思い出します。
(河辺 Tさん 60代)

桜の咲くころになると、自宅と隣の土手にある十数本ソメイヨシノが一斉に咲き始めます。数十年前までは、隣組と夜桜で1杯やりました。夜明けになると寒くなり家へ入って今度は二次会をよくやったことを思い出します。
(雄和 Kさん 70代)

桜の季節になると毎年1回は昼食を「千秋公園」と場所を決め友達と食べた。ウキウキし話が弾んだのが思い出です。
(雄和 Iさん 60代)

僕は4月になったら3年生になります。クラス替えもあるのでドキドキします。でも、新しい友達をたくさん作りたいです。
(豊岩 Sさん 10代)

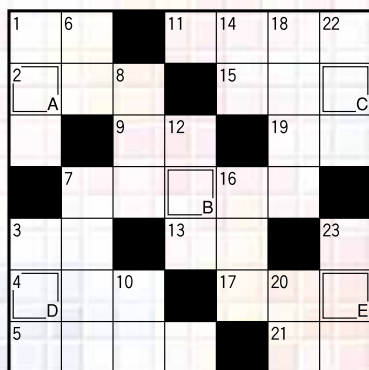
■今月のテーマは『災害時の備え』

東日本大震災を受け、災害時の備えが大切であることを実感させられました。そこで皆さまが災害時に必要だと思うことや用意しておくものなどなんでもかまいません、掲載させていただいた方の中から、抽選で3名の方へ粗品を進呈いたします！皆さまからのたくさんのお便りお待ちしております。

頭の体操 クロスワードパズル

Q. 二重マスの文字をA～Eの順に並べてできる言葉は何でしょうか？

●出題/ニコリ



■タテのカギ

- 1... 紙や布をチョキチョキ切る道具
- 3... 人家の軒下に巣を作ることもある鳥
- 6... 平和を象徴する鳥
- 7... 芸能人が記者——を開く
- 8... ——鉢の土を入れ替えた
- 10... 土地の広さを表す単位の一つ
- 12... 郵送するものに貼ります
- 14... 樽にはめられています
- 16... 野球で打者が振るもの
- 18... 足に履きます
- 20... タコより足が2本多いのです
- 22... 相撲をとる人のこと
- 23... 左ヒラメに右——、といわれる魚

■ヨコのカギ

- 1... 5月の第2日曜は——の日です
- 2... コーヒーには何杯入れますか？
- 3... 二つ1組のものを数えるときに使う言葉
- 4... ——をひっくり返したような雨だ
- 5... うどんの生地を延ばすのに使います
- 7... アヤメやショウブに似た花
- 9... 電車が止まります
- 11... 煮汁に水溶き——粉でとろみをつける
- 13... ——は熱いうちに打て
- 15... ピアノやバイオリン、琴などのこと
- 17... お手洗い、ご不潔ともいいます
- 19... ライオンのことです
- 21... 潮干狩りに行って採ります

サ	ン	ゴ	キ	ヤ	ク	ミ
ク	ウ	ナ	ギ	ナ		
ラ	イ	オ	ン	ア	ミ	
ア	ン	ホ	シ			
ダ	イ	ハ	ン	タ	イ	
ズ	ボ	ン	ナ	ミ	ダ	

★当選者
細部 美桜さん (下浜)
宇佐美 たけ子さん (下新城)
加賀谷 富美雄さん (寺内)
おめでとうございます

【4月号の答え】
ハナミダング

▼クイズにご応募ください▼

【プレゼント】正解者の中から抽選で賞品を差し上げます。
【応募方法】ハガキにクイズの答えと住所・年齢及び今月のテーマについて一言書いて送ってください。
【締め切り】平成23年5月12日(木)
◎応募は右記まで。

案内板

官製ハガキの裏にクイズの答えと上記の今月のテーマについてご記入の上、お送りください。多数の応募お待ちしております。

●FAXから 018-832-6622
●Eメールから kikaku-4@ja-shinakita.or.jp
JA新あきた管理部総務課 教育広報係まで

答え
住所
氏名
年齢

今月のテーマについて一言お書きください。

50 010-0877
JA新あきた
管理部総務課
教育広報係
秋田市千秋街道2-1-40

※JAに寄せられたお便りの住所・氏名・年齢・職業などの情報は広報活動以外で使用することはありません。

■JA新あきたのあゆみ

◎3月

3月3日・・・花卉部会総会	(アキタパークホテル)
8日・・・JA新あきた生産部長と常勤役員の意見交換会	(JA新あきた会館)
11日・・・河辺地区共済友の会通常総会	(岩見温泉)
15日・・・野菜部会総会	(河辺支店)
17日・・・大豆部会総会	(JA新あきた会館)
18日・・・平成23年度定期人事異動内示	(")
25日・・・JA新あきた共同計算委員会	(")
"・・・第8回監事会	(")
"・・・果樹部会総会	(北支店)
28日・・・安全・安心農産物づくり推進協議会	(JA新あきた会館)
29日・・・第13回理事会	(")

■第13回理事会

平成23年度第13回理事会が3月29日(火)に開催され、次の事項について審議されました。

- 議案第 1号/大口信用供与先への供与について
- 議案第 2号/金融ADR対応に伴う登録金融機関業務にかかる規程等の変更について
- 議案第 3号/平成23年度内部監査計画の追加について
- 議案第 4号/平成23年度内部統制整備基本方針計画書(案)について
- 議案第 5号/職制規程の一部変更について
- 議案第 6号/就業規則の一部変更について
- 議案第 7号/職員給与規程の一部変更について
- 議案第 8号/職能資格規程の一部変更について
- 議案第 9号/人事考課規程の一部変更について
- 議案第10号/JAバンク苦情対応要領およびJAバンク利用者保護等管理規程の一部変更について
- 議案第11号/平成22年度決算方針の決定について
- 議案第12号/平成22年度固定資産減損会計の決算方針(案)について
- 議案第13号/県域農家戸配送業務委託に関する覚書の締結について
- 議案第14号/新規需要米(米粉用米・飼料用米)販売手数料の設定について
- 議案第15号/平成21年産米概算金過払いの処理方法について
- 議案第16号/(株)JA新あきたライフサービス平成23年度事業計画について
- 議案第17号/(有)新あきたファーマーズ平成23年度事業計画について
- 議案第18号/旧勝平支店の処分について
- 議案第19号/秋田市農業経営安定資金の貸出について

■JA新あきたの概況(3月末現在)

●組合員数/(正)7,663人 (准)8,105人

貯金	897億3,675万円
貸付金	351億431万円
共済保有高	3,097億3,357万円
購買品供給高	20億3,116万円
販売高	42億4,314万円
出資金	36億1,399万円

■人事

平成23年3月31日付 依願退職

企画管理課 課長 湯澤 優
金融推進課 係長 佐藤 信哉

平成23年3月31日付で定年退職を迎えられました。
組合員の皆さまには、長い間大変お世話になりました。



佐藤 勲夫(中央支店 審査役)
勤続37年(渉外23年 支店長9年 課長3年 金融指導員2年)
長い間お疲れ様でした。
これからのご活躍をご祈念申し上げます。

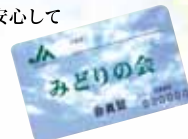
編集後記

今年に入ってから長い冬、そして東日本大震災など自然の恐ろしさを目の当たりにさせられております。各誌でも取り上げられている記事ではありますが、私も一広報担当者として様々なことを皆様にお伝えしていけるよう努力いたします。(飯島)

JA ひとつひとつを心に深く みどりの会

会員随時受付中!!

「JA葬祭みどりの会」は、葬儀全般を安心してまかせられる会員制度です。
どなた様でもご入会いただけ、特典も盛りだくさん。ご入会のお申し込み・お問い合わせは、JA葬祭レゼール本部またはJA新あきたへ。



**入会金は、1家族10,000円のみで、
長期にわたりご利用いただけます。**

ご家族(同居)であればどなた様でもご利用いただけます。また、同居でなくても、世帯主の扶養(学生)等も対象となります。専門のスタッフが費用のご相談や進行、葬儀後の法要等について、心をこめてサポートいたします。他の会に入会済みの方もお気軽にご相談ください。入会された方にカードを発行いたします。

JA葬祭レゼール

株式会社JA秋田葬祭センター

レゼール本部 年中無休 24時間受付 ■フリーダイヤル 0120-46-5731
■ホームページ Http://www.ja-sousai-akita.co.jp

JA新あきた 購買課 Tel.018-832-6658



新茶

エーコープ銘茶は、まろやかな旨味を引き出す深蒸製法のお茶と
さわやかな香りを生かす伝統製法のお茶を、熟達した技術でブレンドしています。
茶葉はすこし細かくなりますが、この細かな茶葉こそ旨味の素です。

- 松 楽 …1kg (167g×6本)
- 玉 翠 …1kg (167g×6本)
- 宝 玉 …1kg (167g×6本)
- 白 楽 …1kg (167g×6本)
- 紫 鳳 …1kg (167g×6本)

一〇メモ
開封後の保管
開封後は、茶葉にとって大敵の高湿多湿を避けるため、冷暗所に保存の上、早めにお召し上がり下さい。また、夏場に1カ月以上保管する場合は、茶筒や茶袋をビニール袋にいれ冷蔵庫に保管することをおすすめします。

この包装は、光・水・空気を通しません。しかも真空後、窒素ガスを充填していますので、開封されるまで新茶の風味を保てます。

問い合わせ(JA新あきた)

■追分営農センター	873-3736	■西宮農センター	888-8255
■北宮農センター	880-6622	■雄和営農センター	886-3111
■東宮農センター	838-2121	■河辺営農センター	882-2711
■南宮農センター	889-6420	■購買課	832-6658

全農 JA/JA全農グループ

製造者 **ハラダ製茶株式会社**

※ご購入いただいた個人情報、申し込み商品等の発送、代金決済、関連するアフターサービスの提供およびその他JAの提供する商品・サービスのご案内に利用します。※この回覧には個人情報が含まれますので閲覧者以外には、情報を出さないようお願いいたします。





JA新あきた お問い合わせ先一覧

施設再編に伴い、4月25日(月)からお問い合わせ先が一部変更になりました。

【支店・営農センター】

平成23年 4月22日(金)まで ▼	▼平成23年4月25日(月)以降▼	
	貯金・年金・貸付・共済にかかわる お問い合わせは	営農指導・販売・購買等にかかわる お問い合わせは
北 支 店	北 支 店 TEL.018-845-1739	北営農センター TEL.018-880-6622
寺 内 支 店		
南 支 店	南 支 店 TEL.018-839-2259	南営農センター TEL.018-839-2331
四ツ小屋支店		
農協ビル支店	農協ビル支店 TEL.018-864-2541	
川 尻 支 店		
雄 和 支 店	雄 和 支 店 TEL.018-886-3111	雄和営農センター TEL.018-886-3111
大 正 寺 支 店		
河 辺 支 店	河 辺 支 店 TEL.018-882-2711	河辺営農センター TEL.018-882-2711
岩見三内支店		
中 央 支 店	中 央 支 店 TEL.018-868-1174	北営農センター TEL.018-880-6622 東営農センター TEL.018-838-2121
東 支 店	東 支 店 TEL.018-833-5030	東営農センター TEL.018-838-2121
明 田 支 店	明 田 支 店 TEL.018-832-2824	
西 支 店	西 支 店 TEL.018-828-3254	西営農センター TEL.018-888-8255
追 分 支 店	追 分 支 店 TEL.018-873-3111	追分営農センター TEL.018-873-3736
組合病院支店	組合病院支店 TEL.018-846-8580	農業資材注文受付専用 受注センター フリーダイヤル.0800-800-4318
本 店 (ローンセンター)	本 店 (ローンセンター) TEL.018-832-6618	

【各センター・事業所】

農機具センター(南部) TEL.018-886-3416	旅行センター TEL.018-837-1151
農機具センター(北部) TEL.018-870-4007	高齢者福祉事業所 (悠楽館) TEL.018-869-9700
青果物 南流通センター TEL.018-839-8861	ファーマーズマーケット 彩菜館 TEL.018-868-1176
青果物 北流通センター TEL.018-846-8110	JA新あきた直売センター いぶきの里 TEL.018-874-8327
雄和 グリーンセンター TEL.018-886-3112	

新あきた農業協同組合 TEL.018-832-6611(本店代表)